

# 第63回(平成25年度第4回)番組審議会議事録

開催日時：平成25年11月20日(水) 午前10時00分～11時20分  
会 場：西宮市役所東館 805会議室

1. 出席者の状況  
委員総数：7名  
出席委員：6名

放送事業者側出席者  
代表取締役社長：1名  
ディレクター：1名  
統括部主事：1名  
西宮市広報課：1名  
取締役：1名  
顧問：1名

## 2. 議事に入るまでの経過

事務局より、定時となったので審議会に入る旨の発言の後、委員長に議長として議事進行を依頼。

議長は第63回(平成25年度第4回)番組審議会を開催する旨を述べた後、社長に開催に当たっての挨拶と放送事業者側の出席者の紹介を求めた。

社長は委員の出席に謝辞を述べた後、会社側より出席する統括部長、主事、および市広報課、取締役、顧問を紹介し、各々挨拶をした。

続いて議長は本日の出席状況の報告を事務局に求めた。

事務局は委員7名中現在4名が出席、2名が遅れて出席する旨を述べ、過半数を満たしており審議会が有効に成立する旨を報告した。

## 3. 議題

### (1) 番組の審議

議長は、本年度第4回目の番組審議会を開催し、議事次第に従い議題の1番、番組紹介に移る旨を示した。本日の審議対象番組は「DJ Nobby's Tokyo LIVE」であり、議事次第の通り「番組内容の説明」と「テープによる番組紹介」を一括提起するよう事務局に求め、質疑応答は「番組内容の説明」と「テープ番組紹介」終了後に一括して受ける旨を委員に述べた。

[ディレクターによる番組内容の説明]

ディレクター

本日審議して頂く「DJ Nobby's Tokyo LIVE」についての資料は、ホームページに載せているプロフィール、先日 11 月 10 日にビルボードライブ大阪で行ったライブのチラシのコピー、そのライブのプレスリリースに際に作成した番組概要の 3 枚をご用意した。これまで番組審議会で審議して頂いた番組とは少し趣が違う。毎週金曜日に放送しているが、本人が東京在住なので殆どはさくら FM のスタジオで作成していない。実家が関西なので帰省している時にゲストを呼んで月に 1 度くらいはこちらで収録する。東京では中央エフエムのスタジオを貸して頂いている。今から聞いて戴く 11 月 15 日放送分も中央エフエムのスタジオで作成したもので我々にはデータとしてファイルで送ってもらっている。同様に FM 局にレギュラー番組として全国 10 局のコミュニティ FM で放送されている。この番組をミュージックバードに提供している関係で、ミュージックバードを採用している局で放送されている事になる。

60 分の番組の最初と最後の部分を中心に 20 分にまとめたものをお聞き頂く。曲は途中でフェードアウトしているが実際にはフルコーラスかかっている。先ずはお聴き頂きたい。

[カセットテープによる番組紹介] (平成 25 年 11 月 15 日金曜日放送分)

[番組に関する意見交換]

議長

番組を聴いて戴いたが、これからご意見交換に入りたい。忌憚なきご質問やご意見を伺いたい。聴いて戴いて如何だったか。

Nobby という方は資料説明によると金融コメンテーターを本職としてサイドでこういう事をやっているのか。Nobby という名前だけで仕事をしているのか。

ディレクター

DJ としては Nobby の名でやっている。開局の頃からやってもらっている。金融の仕事の時は本名だが、たまに金融コメンテーターと DJ がリンクする時は本名で DJ をする事もあるらしい。

議長

98 年からコミュニティ放送に関わっているそうだが、随分長いですね。

ディレクター

長いです。開局したとき彼は高校 1 年生で番組をさせてほしいと飛び込んできた。元々は EWC の活動をしており彼は報徳学園の放送部だったが、市内のいろいろな放送部の生徒が何人かいて放送のことでサークル活動を始めたいという時に開局したので彼が先頭に立って飛び込んできた。市内・放送部・有志という形の高校生の番組「高校生ホン

ネでトーク」を始めたところからの関わり。

議長

言い換えたならさくら FM が関学の学生を見出し育てたということになるか。

ディレクター

本人は英語に堪能で高校在学中にアメリカに1年留学して、そのままアメリカに行くか大学に行っても東京だろうと思っていたが関学となったので、もう4年間面倒を見て下さいとのことだった。関学在学中も番組をしてもらっていた。その後は東京に行った。

議長

地域の FM 放送が地域の新人と一緒に仕事をして、それが東京に行って世界が広がってという、なかなか楽しい動きの一つですね。

ディレクター

彼の実家が神戸なので、帰ってくるたびにこの番組の形になっても関西でアーティストを取り上げてうちで録っている。今週の金曜日の放送分はうちで録ったもの。

議長

どうぞご意見、質問など仰って下さい。

委員

いい声ですね。最初に説明があったようにゲストの方と打ち合わせなしで、その人の良さを素で引き出すのだなと思った。ゲストの井上さんはこの方の World を持っているようで、この人のキャラクターはとてもよく表現出来ていたが、この番組というものと Nobby さんの良さがこのテープだけではいまひとつ分からなかった。また、Nobby さんの興味の対象が洋楽からこのようなインディーズに変わったというのも不思議な気がする。

議長

いつも聞く放送は声が重なってやかましく聞き取りにくいのに比べるととても分かりやすい。Nobby さんが上手いのでしょうね。

委員

Nobby さんは若い時からこういう音楽業界にいて高校生の時から番組をやって、日本の無名で金銭的にも苦しいけれど実力のあるアーティストをもっと伸ばしていこうという使命感があり、それを番組作りの中に取り込んでいこうというコンセプトがはっきりしている。無名だけれど実力のあるアーティストが好きだというコアなファンは結構いて、そういうファンにとっては有り難く興味のある番組だと思う。ずっと聞いてやろうという気にさせる継続性のある番組だと思う。

喋りに関しても囁むところもなく非常にはっきりした喋り方で、分かりやすく自然に入ってくる。DJ としても技術的に高い。非常にいい番組だと思う。

委員

いつもと色が違う番組だと思う。

委員

市長が番組に出られる時は正確に原稿を読んでいるといった堅い感じがしていたが、今回はざっくばらんな感じでお話をされていたのがよかった。歴史について聴いていると、50年ほど前に市長が近くの上甲子園公民館にいらした時のことなど昔の事を思い出

した。

社長

番組内で話しておられましたね。ゲストの井上侑さんもとても雰囲気を持った方。こういうのは Nobby さんがどこかで何かした時に会った方を選ぶのか？ それとも他のスタッフから「あの人がいいんじゃないか」と助言を受けることもあるのか。

ディレクター

基本的には彼自身がライブに行った時に見つけてきた方。何組も出演するので、お目当ての人を見に行ったら一緒に出ていた方と出会うこともある。インディーズを取り上げる時にレコードレーベルやライブハウス主導での持ち込みがあるが、そういうものは断る。あくまでもファン目線で選ぶ。

Nobby は洋楽が大好きでかけていて今のようなインディーズを取り上げるのは月に一回だったが、自分はこれがやりたいと思うようになって毎週するようになった。本業もあるので大丈夫かと心配したが、東京はライブハウスがこちらよりたくさんあるので時間さえあればゲストを見つけてくる事は出来るとのことだった。彼自身がファン目線で見つけてくる。

委員

そうですね。思いもつかないような人を選んでくるので面白いなと思った。自分はラジオは耳を傾け聴くのではなく何かしながら音が流れているという風に思っているが、この番組にはファンがしっかり付いていて20代30代がインターネットなどできっちり聴いているのだろうか。嵌まると面白いと思う。次はどんな人を選んでくるのだろうかという興味が湧く。

ディレクター

好き嫌いがあるって当たり前だが、毎週やっていると「今週は好きかもしれない」と思って聞いてくれるだろう。

委員

(曲に出てきた) 釜上げを今晚食べる時はつくづくと見るだろう。釜上げでも歌になるのだなと思い、すごく面白かった。

議長

中国をはじめいろいろな外国人との交流もさかんになってきている。ライブは東京が中心で国際的になってくると思うが、井上さんの歌のようなものはまさに日本そのもので、「ご飯に釜上げしらすをのせる」という言葉が外国人にどこまで分かるのか、面白いなあと聞いていたが、逆に日本が自信を持って日本のシンガーソングライターをやっているということになるので、それを「面白い」で終わらせずに本物の一つの新しい分野として育てて行って頂きたい。Nobby さんに頑張って頂いてさくら FM も協力してやって頂きたい。

委員

コンセプトのところに「育てるため番組収益をアーティストに積極的に還元する」というのはさくら FM が。それともライブをしているところの収益をその人という事か。

ディレクター

ホームページ上でダウンロードさせたりしており、そこで利益が発生したらその時は還元するというような事だと思う。

実際、今年の3月にビルボードライブ東京で、先々週10日にビルボードライブ大阪で、この番組からの発生イベントを行ったが収益は殆ど上がらなかったと聞いている。しかし、還元できるところはアーティストに還元している。

社長

私も10日には行ってきた。ライブはさくらFM主催で後援が中央エフエムだった。彼がライブの中で考えていた事をまとめたものを読んでみたが、彼は実に才能豊かであるいろと考えているようだ。二足の草鞋を履いているので集中しきれないが、彼自身もいろいろと考えている事と思う。目は世界に向けていることがよく分かる。

さくらFMに恩義を感じてくれた彼の企画に乗ってチケット販売などいろいろやった。

このイベントの2日前に神戸のチキンジョージのライブに行き、出演者がとても豪華で華やかだったが、どちらのライブの方がよかったかといえばこちらの方がよかったと思っている。これから彼とのコミュニケーションをもっとしっかりして次の可能性、展望を持ちたい。打ち上げに参加してアーティスト達と身近に接したが若いパワーを感じた。

議長

さくらFMがこういうことをやっている事に対して広報課はいかがか。ご意見はあるか。

係長

広報課の提供番組は内容が堅いものが多いが、この番組はただ音楽を流すだけでなくゲストに来て頂いて話を聞くとか生で演奏してもらったりとか、曲とそれを歌っている方の人となり両方とも伝わってくるいい番組だと思った。こういう番組で「さくらFMがあるんだよ」と皆さんに知って頂いて、「市政情報番組もあるよ」と分かってもらえたらよい。

議長

「住みたい町西宮」だけでなく若い文化の活力もたくさんあるということをPRして頂きたいというわけですね。

委員

お尋ねしたいが、パーソナリティーの紹介のチラシの下の方にあるさくらFMのロゴマークはこういうものを使うことがあるのか。今のものと違うが。

ディレクター

これはホームページの画面をそのままとったもので、古いバナーでまだ変えていなかった。

議長

これからは決まったものを使ってもらったらいい。

## (2) 15周年イヤー事業の報告と今後の放送について

議長は、二つ目の議題の「15周年イヤー事業の報告と今後の放送について」に移る旨を述べ、事務局に説明を求めた。

事務局はまず、11月27日17時からノボテル甲子園にて記念式典を行う旨を説明した。出席者は250名余りの予定でパーソナリティーの協力を得た実行委員会を開き、本番に備えている旨を伝えた。

記念誌は明後日金曜に納品で式典当日に皆さんにお配りするが、当日ご参加頂けない方にも後日お渡しするのでご覧頂きご意見を賜りたい旨を伝えた。

議長は記念誌はどれくらい作成して配られるのか尋ねたところ、社長は余裕を持って多めに作成し、関係者以外としては限定数をリスナーに配ってもいいと思っていると説明した。議長は放送の内容をPRするには内容が複雑すぎるかもしれないが、せっかくの機会なのでたくさんの方にPRしてほしい旨を伝えた。

続いて事務局は78.7時間放送について、1月9日木曜日正午から12日日曜日19時迄で79時間となるが、その間に通常の放送に加えて深夜も通して生放送を継続して78.7時間放送を行う予定である旨を説明した。テーマは防災とのコラボレーションで、10日早朝開門神事に伴う交通規制などの情報の放送や夙川音楽街道震災メモリアルコンサート、フレンテホールで行うキングブラザーズ復活ライブの直前にスタジオに迎えるなどの内容を考えている旨を伝えた。

## (3) その他

議長

何か言い漏らしたご意見、ご要望などありませんか。

委員

地域防災課からラジオの貸与があると聞いたが。

社長

さくらFMとしては年明けからしっかり売ってPRしていこうと思っている。市は防災の各組織に貸与という形で配っている。

委員

いくら必要かというのを聞かれ、支部がたくさんあるので一応8個必要と言った。

社長

さくらFMが市に販売したもので、数に限りがあるので市は災害の危険性が高いところを優先して配るのがマターのようなのだ。

委員

私は市民まつりの実行委員会をやっている。10月26日にさくらFMさんにもご協力頂き当日生放送してもらい、いろいろPRしてもらった。ありがとうございました。

プログラムの中に市民ライブというのがあって、ママさんのゴスペル、大学生アコースティックライブなどがあつた。さくら FM さんのブースのテントの中でライブをされていたので、ブースだけでなく市民ライブの方にも来て頂いて来年はコラボレーションができたらいいなと思つた。市民ライブの担当者は来年変わるのだからその者にアイデアは伝えておこうと思う。また声をかけさせて頂きたい。

顧問

さくら祭、酒ぐらルネサンスと食フェア、市民まつりと比較的大きなライブ中継だと思ふが、それに関するホームページの掲載内容があまりにそつけない。1行2行載っているだけで、どこでやっているかとか何をやるかなど何も書いていない。せめて主催のホームページにリンクさせるとか、もっとホームページ上での番宣を上手くしないといけない。1行だけというのはあまりに貧相で味もそつけない。

社長

前社長からの引き継ぎで上手くいっていない事のひとつで、業者と上手くいっていない。だから自力で管理しようと思つてはいるが現在の状態では人手が足りず余裕がない。ご指摘の通りで大問題だと思つている。

顧問

時間的制約があつたら主催側が立派なホームページを持っているのでせめてそちらにリンク出来るようにするのがよいと思ふ。コラボレーションで上手くやれば双方でいけると思ふ。ネットを見て参加する人は多いのだから。

社長

広報からさくら FM の顔が見える活動をするよう言われていたので今年は酒ぐらルネサンスにも初めて参加し生放送した。タイムテーブルも配つたが、今までと比べて受け取ってくれる方々の反応が格段と良くなつたと聞いている。しかしまだまだアピールは足りないと思ふので気を付けます。

議長

市の PR の一大拠点として責任が大きいですね。大いに活用して頂きたい。例えば街角コンサートは市が後援してやっているのだからそれを録音して流すなどしたらピーアールになる。一度歌つて終わりではなく、録音して説明を付けて「西宮にはこんなところもあるよ」ともう一回使える。いろいろなことで連携したら西宮の活力になると思ふ。

委員

防災とのコラボレーションということで、一度放送にサイレンを流して見てほしい。サイレンはあるのに聞いた事がない。直接町へは流す事が出来ないのだからラジオで「こんな音ですよ」と流してみしてほしいと思つている。消防署にはこんな取り決めがあつて市民の皆様には知らせる無線もあるのだから、取り上げてもらえないだろうか。皆さんご存じないと思ふ。

社長

うちだけでは決められないので、市の防災などとも相談してみる。情報の伝達手段は一つだけではないが、一番何が有効かという事は大切だと思ふ。

議長は委員にその他特にご意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べ、社長に挨拶を要請した。

社長は審議会でご意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。

事務局は次回の審議会は平成26年1月20日の午前10時30分に西宮市職員会館第1中会議室にてと決定し、審議番組は後日改めて連絡致す旨を伝えた。

議長は、午前11時20分に審議会閉会を宣した。

議事の経過を明確にするため、議事録を作成し、委員長及び出席委員の記名押印をする。

平成25年11月20日

西宮コミュニティ放送株式会社